

定価 340YEN

hank

Ken Done

- ・リフレクソロジー
- ・フトケア
- ・自分で脚の疲れをとる
- ・むくみ
- ・脚・足の病気
- ・ウォーキング
- ・靴選び
- ・水虫・ウォノメ・タコ
- ・O脚・X脚
- ・冷え
- ・ひきしめ
- ・なま脚対策

美脚の正しいケアが 健康の素!

脚のトラブル・悩み徹底チッソ。



ますます好調! 30代からのファッショントマニ

Dgmani

AUGUST

8

A Monthly Magaz
for Non-age Career

両な事を強みに変える

50cm台の、
重の着こなし
旨金バランス

ヤケットなしでもきれい!
能インナー13の着回し
遊びワンピースで華やぐ
り切れ必至
&バッグ新作ニュース
ンパクト・ジュエリーで
コルテ美人になる
暑に耐えるロングランマーク

フ&ライブインタビュー
ヤン・レノ

をAIDSチャリティ

上フリーマーケット

込み保存版 全店詳細マップ付

30代の休日用服、
強化アソブするの
旅先で活躍! ■ストレッチ・ロングスカート ■リゾートに映えるキラキラスカート
友人を招く日の「落ち感パンツ」 ■レストランに行ったら口アタマをキルスカート
今年大人

上
糸
会

e event

パリシニコフと玉三郎の共演と聞いて、心躍らないダンスファンはないだろう。その夢の舞台がこの夏実現する。旧ソ連生まれのパリシニコフは亡命後、主にアメリカを拠点に活動。現在は自身のモダンダンスのプロジェクトを中心活動する天才ダンサー。玉三郎も歌舞伎の枠にとどまらず、創作舞踊や現代劇、映画の監督、舞台の演出とその活動は多岐にわたる。玉三郎はこれまでにもパトリック・デュポンや「きじヨルジュ・ドンラ」とのコラボレーションはふたりのソロと、新しく振り付ける共演作品の計5~6作で構成される予定。ふたりの出会いが生む、あらたな舞踏表現に今から期待が高まる。

このアートを見に行こう

文 林 寿美

川村記念美術館 学芸員

Brotherhood Table II Automata(1990)

ウッディ・ヴァスルカーザ・ブラザーフッド

Brotherhood Table II Automata

人間と機械、現実と仮想が入り交じる空間とは

現代生活において機械が私たちと共に存していることはいうまでもありません。それは、日々の暮らしの隅々に入り込んだだけでなく、すでに環境と化したといつても過言ではないでしょう。

「自動操縦」と名付けられたこのインスタレーションは、アートという場でそのことを実感させてくれるはず。部屋の中央に据えられた宇宙衛星ロボットのような機械は、自由自在に回転しながら映像と音を操って、ニュー・メディア独特の空間を演出していきます。

自分の体が紛れもなく存在する「現実の空間」と、機械が創造する「仮想の空間」。このふたつの空間は、巧みに交錯させられることで、ついに漫食し合い、未踏の場所をつくり出していくのです。

●ウッディ・ヴァスルカ/1937年旧チェコスロバキア生まれ。メディアアーティスト。今回、日本初の本格的個展。●会期/7月17日~8月30日 会場/NTTインターロミニケーションセンター 問い合わせ/0120-144199



今月のイチオシイベント

ミハイル・バリシニコフ &坂東玉三郎

常に新しい舞踏表現を探る
2大スターの共演に期待

SCHEDULE

8月5日~27日銀座セゾン劇場
10, 11, 17, 20, 24日は休演
問い合わせ/03-3535-0555

ART

フンデルトワッサーの世界展

現代オーストリアを代表する芸術家フンデルトワッサーが、初期の水彩から最新作まで自ら作品を選定し、制作活動の軌跡を辿る。7月1日~27日伊勢丹美術館 問い合わせ/03-3352-1111 入場料/¥1,000



大英國展～大英科学博物館展と英国ライフスタイル展

ガーデニング、紅茶、不思議の国のアリスからスティーブンソンの蒸気機関車まで英国の魅力を多角的に紹介。7月22日~8月30日東京国際フォーラム 問い合わせ/大英國展事務局/03-3231-5354 入場料/¥2,000



CONCERT

大野和士と草刈民代の(バレエ音楽の世界)

トーク・ゲストに人気ダンサー草刈民代を迎え、気鋭の指揮者大野和士と東フィルが「ボレロ」「火の鳥」などを演奏。9月1日サントリーホール 問い合わせ/東京フィルチケットサービス(03-5353-9522)



モーストリー モーツアルト'98

8回目を迎える夏の人気企画。メゾ・ソプラノのサンヌ・メンツァー(写真)、ピアノのアンドレ・ワツコほか実力派ソリストが来日。8月28日~9月4日Bunkamura オーチャードホール 問い合わせ/03-3477-9999



STAGE

身毒丸

昨秋、ロンドン公演で絶賛された白石加代子、藤原竜也主演の舞台が待望の凱旋公演を行う。寺山修司の原作を、蜷川幸雄が演出。7月3日~20日Bunkamuraシアターコクーン 問い合わせ/メジャーリング(03-5371-4390)



ザ・コンボイ・ショー



即日完売だった昨年の公演に続き、芝居あり、歌あり、ダンスあり、お笑いありのエンターテインメント集団が繰り広げるパフォーマンスショー。7月29日~8月22日赤坂ブリスホテルクリスタルパレス 問い合わせ/03-3234-1111

ピア

映画は今週、ついに公開!!

新・ゴジラ グッズも解禁だ!

フィギュアはもちろん、戦闘メカも大充実
「GODZILLA」モノに注目せよ

前売りスタート!

Jリーグ 2ndステージ

今週はベルマーレ平塚、
横浜マリノス、ヴェルディ川崎だ!

今度のドラマはNYが舞台

三谷幸喜 が語る

「届くなんかに負けるもんか」
ガンバレNOMO!

野茂英雄と メツツの“愉快な”

仲間たち

ヒアゲ、吉井と目指せ、優勝!

「ドリーム
ビッグbingo」
2300名様に
総額265万円
をプレゼント

情報誌初の3号連続企画

この人
MAX
榎本加奈子
唐沢寿明

On-line Service

チケット
ピア

03-5237-9999

@ピア

ピア世界 just for me
URL: <http://www.pia.co.jp/>

定価
300円
毎週月曜刊

ピアスパワーザーフシート

横濱アリーナ×2公演
横浜武道館×2公演
インタビュー

いま、男なら必ず会いたい



炎と一緒に湧き上がる、
クマさんの闇と光の世界。

美術ジャーナリスト 赤坂英人

—エツ、あのクマさんへて本当に芸

「アーティスト」クマさんの本領を見せて貰おう。

モテアツで流行を無視した直感的な味

現代人が失ってしまった火や土と闘わる筋力を、彼はまだ持ち続けているのだ。あの坊主頭に着流しという彼の風貌は、コンピュータがすべてを管理しようとすると時代に逆らうようで、僕は好きだ。テレビでのユー

「ヴァスルカ ザーフッド」服

メディアが解体する「男性原理」。

旧チェコスロバキア出身のメディア・アート界のベテラン、ウッディ・ヴァスルカの大規模な展覧会。アメリカの軍事研究所などから廃棄された素材を用いた「ザ・ブラザーフッド」のインスタレーションは、暴力的な「男性原理」とテクノロジーの関係を暴く傑作として国際的に評価が高いものだ。



© Frank Stella/Tyler Graphics
Ltd./ARS, New York/SPDA,
Tokyo CGGA 所蔵

アメリカ美術の巨匠フランク・ステラは60年代から今日まで、ミニマリズムの絵画から色彩が乱舞する立体作品まで、さまざまな様式で作品を発表してきた。そのステラの不可欠のメディアである版画制作を支えてきた刷り師、ケネス・タイラーとの30年におよぶ共同製作の軌跡を振り返るプロジェクト。二人が作り出す革新的作品はまさに驚きの連続だ。

「篠原勝之」展 KUMA'S GARDEN GLASS MEETS STEEL

7/1~8/2 キリンアートスペース原宿 ☎03-5485-6322
⑨11時~19時 会期中無休 ④一般¥500

• 1980 年第 1 期 • 100



これまでに900点以上の鉄の作品をつくってきたクマさんのアートは、内モンゴルやインドにも置かれている。昨年には絵本「鉄のおもいで」を出版。今月28日まで京都駅にある美術館「えき」KYOTOでも展覧会が開催されている。

1400度の炉で「鉄」を溶解し、
てきたクマさんが、いま無限の光を
求めて「ガラス」を溶かし始めた。
流動する輝く液体は、少しずつ冷や
され、研磨され、内に光をたくわえ
た透明な結晶体となつて「世に姿
を現す。それが現代の「鍊金術師」
篠原勝之がつくり出した光る鉄「ガ
ラス・アート」の世界である。

『トム・バリル写真展—インプレッションズ』 洗練された技術と「紅茶」が生む、 90年代の「ニューヨーク新写真』

あの80年代の伝説的写真家ロバート・メイプルソープのスタジオで、専属プリンターをしていたキャリアを持つ、今ニューヨークで話題の写真家トム・パリルの日本初個展が開かれる。1994年にビンホール・カメラを使った撮影を開始、プリントの仕上げに「紅茶」を使うという手法を見つけだした。完璧な技術で仕上げられた彼の絵画で絵画的写真は

現在注目の的。昨年
出版された写真集は
売り切れ状態とい
う売れっ子写真家だ。



“Lily:1995”ゼラチンシルバー・プリント51.0×66.0cm。仕上げに紅茶を使った写真は、メイプルソープとはまったく反対の瞑想的個性を、リアルに表現している。

7/24まで バーソウ・フォト・ギャラリー
☎03-3478-4375

03-3478-4379

7/26まで 町田市立国際版画美術館
☎0427・26・2771 ⑨時～16時30分(入場は16時まで)ただし7月中旬の土・日曜日は17時30分(入場は17時まで)

7/17～8/30 NTTインターフェーバル・センター(ICC)
(東京オペラシティタワー4階)
■ 0120-144199(受付時間10時～18時)
(朝10時～18時(金曜日のみ21時まで))

②10時～18時(並曜日のみ21時まで)

これまでにそれまでの木橋 写真をプリントし、水墨などで描
エノクロをベースにした作

Weekly

美術館

7.27

定価 300 円(税込)
毎週月曜刊打見せます!
打ち上げます!

8月の花火大会

神宮外苑花火大会/東京湾華火大会など

Art



今週1stステージ再開!
小野伸ニインタビュー付き

Jリーグ 新時代

フレイクまでの短い道のり
3年間を写真でたどる
やっぱりカッコイイ

金城 武

フランス、香港、
そしてグアムに出現

小室哲哉の 忙しそうな日々

なぜか東比寿で
ライブ対決!

スチャダラパー vs
TOKYO No.1
SOUL SET

この人

DA PUMP

パイレーツ

金子 賢

読者だけの大チャンス!
先行予約申込書
スマートリザーブシート

黒夢

@ピア

Pia world just for me

URL: <http://www.pia.co.jp/>

on-line Service

アート

ピア

ピア

ピア

1998

Event

8-9

月号

VOL. 7

●便利で役立つ・カテゴリー別

3・9月の
注目イベントガイド

WORLD PC EXPO '98

第36回アミューズメント
マシンショー

Internet World
JAPAN '98

AUTO ASIA '98

etc.

3・9月のイベント
アソーリング

便利な展示会場
アクセスマップ付き

大好評

要Check!!

イベント大特集
プレゼント!!

アフター
コンベンション

パシフィコ横浜周辺
注目スポット

特集

サマーアイベント 夏のレジャー&
盛りだくさん!

マニアックマニアズム

読者アンケート(8・9月号)

FAX.03-5569-1503
イベント東京編集室宛

「もっと展示イベント情報が知りたい!」という声をもとに誕生した「イベント東京」は、現在首都圏主要4展示会場が、インフォメーション等にて同時配布しているまったく新しいタイプのビジネス情報誌です。「イベント東京」は今後も、イベントをグッと盛り上げるため、読者の皆さまのご意見・ご感想をリアルタイムで反映していきたいと考えています。

※このページにもれなくご記入の上、コピーしてA4サイズのままFAXにてお送りください。

①本誌をどこで入手しましたか?

【展示場】東京ビッグサイト 幕張メッセ パシフィコ横浜
コンベンションセンター TOKYO 東京国際フォーラム

ご覧になった展示会名()

【その他】・年間購読者
・それ以外()

②「イベント東京」の印象をお聞かせください。

面白い 役に立つ もの足りない
つまらない どちらでもない

③記事の中で興味を持ったものは何ですか?

- ・イベントカレンダー
- ・注目イベントガイド
- ・展示会場周辺スポット
- ・特集／夏のレジャー＆アミューズメントガイド
- ・特集／ホテルガイド
- ・EVENT TOKYO NEWS
- ・東京発ふるさと巡りの旅

④今後特集で読んでみたいジャンルがあればお聞かせください。

⑤普段購読している雑誌は?

() ()
() () ()

⑥展示会に年間どのくらい来場しますか?(○をおつけください)

1回 2回 3回 5回以上 10回以上

⑦ご希望のプレゼント番号(○をおつけください)

1 2 3 4 5 6 7

⑧年間購読の資料を希望されますか?

YES NO

入場券プレゼント

各イベント主催者より入場券をプレゼントいたします。
ご希望の方はP.2~P.3を参照して、ご希望のイベント入場券名のアルファベットをひとつだけ○で囲んでください。

A. SCAN-TECH JAPAN 1998 (10組20名様)
B. 建築新技術展／国際セミナーA/E/C SYSTEMS JAPAN'98 (50組100名様)
C. IBM総合フェア'98 (25組50名様)
D. WORLD PC EXPO 98 (20組40名様)
E. ダイレクトマーケティングフェア／ビジネスチャンスフェア'98 (50名様)

F. 産業展示会&セミナー・フォーラム「'98カラオケ・フェスタ」(50組100名様)
G. '98教育総合展 (20組40名様)
H. JAPAN DIY SHOW '98 TOKYO (10組20名様)
I. オートアジア'98～チューニング&ドレスアップショー～ (10組20名様)
J. エンターブライズ・システム・ソリューション・パーク'98 (50組100名様)

今号に掲載されている広告の製品・サービス等に関する資料をお求めの方は、□に✓印をつけてください。

AOLジャパン(表2)

フラッシュ(P.6)

住友クレジットサービス(P.9)

日本生命(表4)

資料請求

přehlídka

HI-TECH UMĚNÍ

prodloužena do 30.10.

INSTALACE

JEFFREY SHAW, Zentrum für Kunst und Medien, Karlsruhe, BRD
VIRTUAL MUSEUM

PETR WEIBEL, Institut für Neue Medien, Frankfurt
FOUR WORLDS

WOODY VAŠULKA, The Vasulka's, Santa Fe / FaVU VUT Brno
TABLE III / Z CYKLU BRATRSTVÍ

MICHAEL BIELICKÝ, AVU Praha
VNITŘNÍ POZOROVATEL

LUBOMÍR ČERMÁK, AVU Praha
O. S. E. T.

TOMÁŠ RULLER, FaVU VUT Brno
VIRTUÁLNÍ BAZÉN

PERFORMANCE

STELARC, Australia
PSYCHO - CYBER / RECENT ROBOTS & VIRTUAL PERFORMANCES

GRAFIKA

LUCIE SVOBODOVÁ, FAMU, Praha
HOLUSION

ANIMATION

WOODY VAŠULKA, JAN HAMMER, RADEK PILAŘ, PETR VRÁNA, MARTIN HŘEBAČKA

MEDIA - ARCHIV

ARS ELEKTRONICA LINZ, MULTIMEDIALE KARLSRUHE, THE VASULKA'S - LASER DISCS BARCODE ARCHIVE

*v Místodržitelském paláci Moravské galerie
Moravské náměstí 1a, Brno*



spolupořádají

VUT Brno, fakulta výtvarných umění, atelier video - multimedia - performance



Moravská galerie v Brně

firma Silicon Graphics Computer Systems

Vysoké učení technické v Brně

fakulta výtvarných umění, atelier video-multimedia-performance

pořádají

17. - 21. října 1994

mezinárodní přehlídka

HI-TECH UMĚNÍ

19. října 1994 od 14.00 do 18.00

sympozium

HI-TECH / UMĚNÍ

19. 10. 1994

vedoucí ateliéru video - multimedie - performance fakulty výtvarných umění VUT v Brně

14.00

Woody Vašulka

The Vasulka's, Santa Fe, USA

zakladatel legendárního avangardního kulturního centra The Kitchen v New Yorku, profesor University Buffalo, vedoucí multimediální laboratoře FaVU VUT v Brně, světoznámý předník umění elektronických medií

15.00

Štefanec

(Stefan Arcadiou), West Melton, Australia

přední umělec tělového umění integrující ve svém díle nejnovější technologie

16.00

Gideon May, spolupracovník Jeffrey Shawa

Zentrum für Kunst und Medien, Karlsruhe, BRD

tvůrce speciálních programů pro multimedia, reprezentuje přední Centra pro umění a media v Frankfurtu

17.00

Michael Klein, spolupracovník prof. Petersa Weibela

Institut für Neue Medien, Frankfurt, BRD

fyziik a matematik, expert na "teorií chaosu", ředitel Institutu pro nové media ve Frankfurtu



Akce probíhá v Moravském divadle Brno, Moravské náměstí 1a, Brno

Art in America

JULY 199

Sarah Charlesworth
Bonnard at MOMA
Di Suvero in Paris
Report from Korea



\$5.00 USA
\$6.50 CAN £3.50 UK

Woody Vasulka

The Brotherhood

a series of six interactive media constructions

July 17 - August 30
1998

Tokyo Opera City Tower 4F,
3-20-2 Nishishinjuku, Shinjuku-ku,
Tokyo 164-1404
JAPAN
Tel 81-3-5353-0800 / Fax 5353-0900
www.ntticc.or.jp / query@ntticc.or.jp



INTERCOMMUNICATION CENTER

NTT InterCommunication Center [ICC] is
dedicated to envisioning a future society rich
in imagination and creativity through dialogue
among science, technology, art and culture.

ROBERT INDIANA

RETROSPECTIVE 1958-1998

June 26 - November 22, 1998

MUSEE D'ART MODERNE
ET D'ART CONTEMPORAIN
NICE

Tel (334) 93 62 61 62

ROBERT INDIANA

represented by

SIMON SALAMA-CARO

45 East 80th Street, New York, NY 10021
Tel 212.585.3624 Fax 212.585.3623

FlashArt



A Kurt Kauper Diva, Chris Finley's Flying Saucer Pictures, a Casper and Thruse, and a Philip Argent Planet. Interpreted by Chris Finley.

Official Information



Woody Vasulka

The Brotherhood

a series of six interactive media constructions

July 17 - August 30
1998

Tokyo Opera City Tower 4F,
3-20-2 Nishishinjuku, Shinjuku-ku,
Tokyo 164-1404
JAPAN
Tel 81-3-5353-0800 / Fax 5353-0900
www.ntticc.or.jp / query@ntticc.or.jp



INTERCOMMUNICATION CENTER

NTT InterCommunication Center [ICC] is
dedicated to envisioning a future society rich
in imagination and creativity through dialogue
among science, technology, art and culture.

KOHO

STUDIO GUENZANI
VIA EUSTACHI, 10
20129 MILANO
TEL. 39.2.29409251
FAX 39.2.29408080



美術

Ausstellungsort/Venue:
Ausstellungs- und Konferenzzentrum der
Luxemburger Internationalen Messen (FIL)
Exhibition and Conference Center of
Luxemburg International Trade Fair (FIL)

Eine Veranstaltung des Goethe-Instituts
Luxemburg in Zusammenarbeit mit
Luxemburg Kulturstadt Europas 1995

A Luxemburg Goethe-Institut Project in
cooperation with Luxemburg The Cultural
City of Europe 1995

Art and Culture

Social Institutions

Education and Science

On-Line Real Time Tools Interfaces Games Networks Global Interaction Isomorphism Virtual Community
Residential Area

City-Center

Entertainment

Production

Gate

Street

Ausstellungsdauer
Exhibition: 04.11.-12.11.1995

Eröffnung
Opening: 03.11.1995
18:00 Uhr/6 pm

Symposium
Symposium: 10.-11.11.1995

Ausstellung und Symposium über die interaktive und vernetzte Stadt
Exhibition and Symposium on the Interactive and Networked City

Durchführung/Realisation:
Medienlabor München/Medialab Munich

Projektleitung/Projectmanagement:
Georg Hartwagner, Stefan Iglhaut, Armin Medosch, Florian Rötzer

Kontaktadresse/Contact:
Medienlabor München/Medialab Munich
Armin Medosch, Corinna Schneider, Susanne Waldmüller

Lothringer Straße 13
D-81667 München

Tel: +49 89 48 40 73
Fax: +49 89 48 40 74

Telepolis

Ausstellung und Symposium über
die interaktive und vernetzte Stadt

Die Stadt als Thema und Leitmetapher eines europäischen Ausstellungsprojekts: Telepolis wird erbaut aus den Sozial-utopien der Netzgemeinschaften, aus den digitalen Werkzeugen und Maschinenphantasien, die unsere urbanen Lebenswelten verändern, aus den Visionen von globaler Kommunikation im Computerzeitalter. In Telepolis siedelt sich eine auf Computernetze, auf Kabel- und Satellitenverbindungen gestützte globale Gesellschaft an. Telepolis ist ein neuer, in seinen Dimensionen kaum abzusehender, vielgestaltiger Datenraum, an dem fieberhaft gebaut und gebaut wird, in dem neue Arbeits-, Kommunikations-, Informations- und Unterhaltungsformen entstehen, bis hin zu Formen von Tele-Existenz und von Tele-Gemeinschaften, die zwar anders als die Existenz im wirklichen Leben sind, aber in vielfältiger Weise auf dieses zurückwirken.

Die Ausstellung baut Telepolis in ihren Funktionsbereichen nach: Zugänge und Verkehrswege der Stadt, City und Marktplatz, Kunst- und Kulturbereich, Sozialeinrichtungen, Bildungs- und Forschungsinstitutionen, Arbeit und Produktion, Vergnügen, Wohnen.

Wir laden Sie ein, an der europäischen Netzstadt Telepolis mitzubauen, als Besucher oder Bewohner, als Produzent und Gestalter innovativer Konzepte. Wenden Sie sich an das Büro Telepolis in München, betreten Sie unsere Baustelle im World Wide Web. Wir freuen uns auf Ihre Teilnahme.



telepolis@mlm.extern.lrz-muenchen.de
<http://www.lrz-muenchen.de/MLM/telepolis.html>

Telepolis

Exhibition and Symposium
on the Interactive and Networked City

The city as a topic and leading metaphor of a european exhibition-project: Telepolis is going to be built out of the utopian concepts for a society as formulated by the network-communities, out of the digital tools and machine-phantasies that are changing our urban environment, out of the vision of global communication in the computerage. A global society based on satellite, cable and computer-networks is settling down in Telepolis. Telepolis is a new diversified data-space whose dimensions cannot yet be predicted, which is constantly being remodelled and updated, where new ways of working, communicating and interacting evolve, reaching a level of tele-existence and tele-society, different from existence in real life, but with effects on this existence that are both, complex and remarkable.

The exhibition is going to set up Telepolis, following its functional districts: The streets of the city, city-center and marketplace, art and culture, social institutions, educational and research institutions, work and production, entertainment, living.

You are invited to join us building the european Telepolis, as a visitor or a citizen, as a producer and creator of innovative ideas. Contact the Telepolis Organisation Office in Munich, visit our construction site in the World Wide Web. We are looking forward to your participation.